2024 年度

地球温暖化対策計画書

1　指定地球温暖化対策事業者の概要

(1)　指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあっては名称）
指定地球温暖化対策事業者	損害保険ジャパン株式会社

(2)　指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称			損保ジャパン事務本部ビル				
事業所の所在地			東京都西東京市新町六丁目３番５号				
業種等	事業の業種	分類番号	J67	J_金融業_保険業	保険業（保険媒介代理業，保険サービス業を含む）		
		産業分類名	保険業（保険媒介代理業，保険サービス業を含む）				
	事業所の種類	主たる用途	事務所				
		建物の延べ面積（熱供給事業所にあっては熱供給先面積）		前年度末 35,466.00 ㎡		基準年度 35,466.00 ㎡	
		用途別内訳	事務所	前年度末 29,568.62 ㎡		基準年度 29,568.62 ㎡	
			情報通信	前年度末 5,897.38 ㎡		基準年度 5,897.38 ㎡	
			放送局	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			商業	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			宿泊	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			教育	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			医療	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			文化	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			物流	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			駐車場	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
			工場その他上記以外	前年度末 ㎡		基準年度 ㎡	
事業の概要			１．損害保険事業＜引き受け＞火災保険、海上保険、傷害保険、自動車保険、自動車損害賠償責任保険、その他の保険、各種の再保険 ＜資産の運用＞貸付業務、有価証券投資業務 ２．他の保険会社の保険業に係る業務の代理または事務代行 ３．融資、資産の流動化等に係る債務保証 ４．投資信託の窓口販売業務 ５．政府の自動車損害賠償保障事業の業務の一部委託				
敷地面積			25,157.00 ㎡				

令和6年4月版

地球温暖化対策計画書

1　指定地球温暖化対策事業者の概要

（1-2）　指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあっては名称）

(3)　担当部署

計画の担当部署	名称	人事部
	電話番号等	050-3798-3531
公表の担当部署	名称	人事部
	電話番号等	050-3798-3531

(4)　地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス：	http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/valuechain/cli
	窓口で閲覧	閲覧場所：	
		所在地：	
		閲覧可能時間	
	冊子	冊子名：	
		入手方法：	
	その他	アドレス：	

(5)　指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2009	年度	事業所の使用開始年月日	1974	年	5	月	1	日
特定地球温暖化対策事業所	2009	年度								

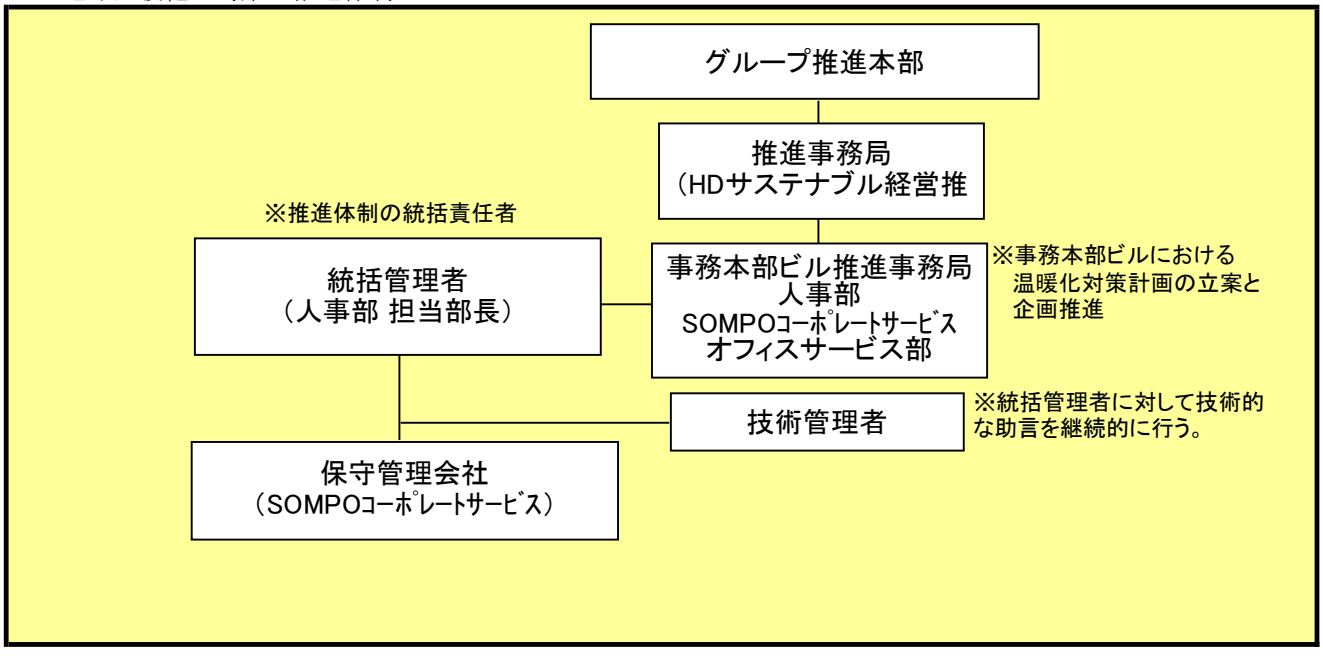
2　地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

ＳＯＭＰＯグループは、かけがえのない地球環境を未来へ引き継ぐため、業務プロセスに環境への配慮を組み込むとともに、ステークホルダーとの積極的な対話と協働を通じて、環境問題の解決に積極的に取り組むことで、レジリエントで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

《環境行動》
１．社会のレジリエンスを高めるための商品・サービスの提供
２．バリューチェーンを含めた環境負荷の低減
３．環境問題に対する意識啓発、環境・地域貢献活動の推進

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

3　地球温暖化の対策の推進体制



4　温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1)　現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2020　年度から　2024　年度まで				
削減目標	特定温室効果ガス	事務室および共用部の照明設備LED化工事を計画的に実施継続し、また高効率の機器への更新およびインバーター制御を導入により、電力量を抑え基準排出量の削減義務27%以上の削減に努める。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	継続的に上水道の節水に努めて削減を図る。			
削減義務の概要	基準排出量	9,933	t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	Ⅰ－1
	排出上限量（削減義務期間合計）	37,577	t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	27%

(2)　次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2025　年度から　2029　年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	トップランナー変圧器・高効率ファンモーター等の省エネ機器への更新およびインバーター制御機器導入を計画的に実施し、温室効果ガス排出量の削減に努める。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	継続的に上水道の節水に努めて削減を図る。

5　温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1)　温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特定温室効果ガス（エネルギー起源CO_2）		3,819	2,531	2,017	1,817	
その他ガス	非エネルギー起源二酸化炭素（CO_2）					
	メタン（CH_4）					
	一酸化二窒素（N_2O）					
	ﾊｲﾄﾞﾛﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ（HFC）					
	ﾊﾟｰﾌﾙｵﾛｶｰﾎﾞﾝ（PFC）					
	六ふっ化いおう（SF_6）					
	三ふっ化窒素（NF_3）					
	上水・下水	14	13	14	13	
合計		3,833	2,544	2,031	1,830	

(2)　建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
延べ面積当たり特定温室効果ガス年度排出量	107.7	71.4	56.9	51.2	

6　総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1)　基準排出量の算定方法

◉過去の実績排出量の平均値	基準年度：（２００２年度・２００３年度・２００４年度）
○排出標準原単位を用いる方法	
○その他	算定方法：（ ）

(2)　基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
変更年度	○		○			

(3)　削減義務率の区分

削減義務率の区分	Ⅰ－1

(4)　削減義務期間

2020　年度から　2024　年度まで

(5)　優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6)　年度ごとの状況　　単位：ｔ（二酸化炭素換算）

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量(A)	10,875	10,797	9,933	9,933	9,933	51,471
	削減義務率(B)	27.00%	27.00%	27.00%	27.00%	27.00%	
	排出上限量(C＝ΣA-D)						37,577
	削減義務量(D＝Σ(A×B))						13,894
実績	特定温室効果ガス排出量(E)	3,819	2,531	2,017	1,817		10,184
	排出削減量(F＝A－E)	7,056	8,266	7,916	8,116		31,354

(7)　前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	☑削減対策	□床面積の増減	□用途変更
	□設備の増減	□その他	
具体的な増減要因	事務室内および共用部分の蛍光灯タイプ照明を計画的に順次、LED照明に更新してきた		

7　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策No	対策の区分 区分番号	対策の区分 区分名称	対策の名称	実施時期	備考
		【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】			
1	150200	15_照明設備の運用管理	誘導灯更新工事（121箇所）	2010	2010年度完了
2	130100	13_空気調和の管理	クールビズ等	2011～	７月～９月末の期間
3	150200	15_照明設備の運用管理	外灯照明ＬＥＤ化	2010～2021	2021年度完了
4	150200	15_照明設備の運用管理	各階照明器具のＨＦ化	2012	2012年度完了
5	150200	15_照明設備の運用管理	１階南ロビーＬＥＤ化	2012	2012年度完了
6	150200	15_照明設備の運用管理	１階ELVﾎｰﾙ及び６階食堂他ＬＥＤ化	2013	2013年度完了
7	150200	15_照明設備の運用管理	3階2階電算室及び玄関ロビー他ＬＥＤ化	2014	2014年度完了
8	150200	15_照明設備の運用管理	B1階中央監視室及び廊下他ＬＥＤ化	2015	2015年度完了
9	130200	13_空気調和設備の効率管理	給排気ファン高効率化	2011～2015	2015年度完了
10	150200	15_照明設備の運用管理	６階ELVﾎｰﾙ共用部他ＬＥＤ化	2016	2016年度完了
11	150200	15_照明設備の運用管理	５階４階ELVﾎｰﾙ共用部及び東階段他ＬＥＤ化	2017	2017年度完了
12	150200	15_照明設備の運用管理	６階講堂及び東廊下他ＬＥＤ化	2017～2018	2018年度完了
13	150200	15_照明設備の運用管理	３階ELV-ﾎｰﾙ廊下及び西階段ＬＥＤ化	2019～2020	2020年度完了
14	150200	15_照明設備の運用管理	５階事務室及び女子トイレＬＥＤ化	2020～2021	2021年度完了
15	150200	15_照明設備の運用管理	１階共用部ＬＥＤ化	2021～2022	2022年度完了
16	150200	15_照明設備の運用管理	４階事務室ＬＥＤ化	2021～2022	2022年度完了
17	150200	15_照明設備の運用管理	2階3階7階機械室等共用部ＬＥＤ化 4階北東女子トイレＬＥＤ化	2022	2022年度完了
18	150200	15_照明設備の運用管理	１階事務室及び２階共用部ＬＥＤ化	2022～2023	2023年度完了
19	150200	15_照明設備の運用管理	2階3階6階事務室LED化	2022～2024	
20					
		（再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況）			
71					
72					
73					
		【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】			
81					
82					
83					
		【排出量取引の計画及び実施の状況】			
91					
92					
93					

８　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

当社では、地球の環境保全・地球的規模での環境保全及び循環型経済社会の構築を企業の社会的な責任ととらえ、環境・経済効率に配慮し環境問題への取り組みを地道かつ継続的に展開してきた。そのことにより事業者従業員の地球環境に対する意識の向上が図られた。
また、具体的には以下ののとおり地球温暖化対策に取り組んできた。
１．事業所での省エネの取り組み
　　2003年度　・2F東電算室の空調システムの変更
　　2004年度　・2F西・3F東西の電算機械室空調システムの変更・2F・3F東西電算室の照明設備の変更
　　・CVCF設備の更新及び負荷適正化運転システムへ変更・余剰INV設備の撤去
　　2005年度　・夏季室内温度設定の変更（25.5℃→27.0℃）
　　2006年度　・省エネベルトの採用
　　2008年度　・ガラスフィルム導入による省エネ対策
　　2009年度　・24時間空調の空冷化・照明器具の高効率化（ＨＦ化）
　　2010年度　・誘導灯更新工事（-8.00tco2）
　　2010～2012年度　・外灯照明（水銀灯９台）ＬＥＤ化（-0.82tco2）
　　2011年度　・給排気ファン（８台）高効率化・low-eガラス（11箇所）更新・照明器具のＨＦ化（-40.79tco2）
　　2012年度　・１階南ロビーＬＥＤ化（-4.38tco2）・給排気ファン（８台）高効率化（-0.35tco2）
　　2013年度　・１階ELVﾎｰﾙ及び６階食堂他ＬＥＤ化（-1.87tco2）・給排気ファン（４台）高効率化
　　・３階南事務室ガラスフィルム（遮熱）貼工事
　　2014年度　・3階2階電算室及び玄関ロビー他ＬＥＤ化（-57.27tco2）・給排気ファン（６台）高効率化
　　・南面事務室の空調熱損失を防ぐ為low-eガラス（175箇所）に更新
　　2015年度　・暖房温水洗浄便座の暖房および温水を停止（４月～９月）
　　・給排気ファン（１３台）高効率化（-8.30tco2）
　　・B1階中央監視室及び廊下他ＬＥＤ化（-3.73tco2）
　　・トイレ系統排気ファン（１台）をインバータ制御に更新
　　・北面事務室の空調熱損失を防ぐ為low-eガラス（85箇所）に更新
　　2016年度　・外灯照明（水銀灯４台）ＬＥＤ化（-0.48tco2）・６階ELVﾎｰﾙ共用部他ＬＥＤ化（-2.28tco2）
　　・上水給水加圧ポンプ（３台）をインバータ制御に更新
　　2017年度　・雑用水給水加圧ポンプ（４台）をインバータ制御に更新
　　・１階南ロビー日除け対策ブラインド設置
　　・5階4階ELVﾎｰﾙ共用部及び東階段他ＬＥＤ化（-10.28tco2）
　　2017～2018年度・６階講堂及び東廊下他ＬＥＤ化（-9.30tco2）
　　2018年度　・外灯照明（水銀灯３台）ＬＥＤ化（-0.36tco2）
　　2019年度　・外灯照明（水銀灯６台）ＬＥＤ化（-0.72tco2）・高効率のＰＡＣ更新（１台）
　　・３階給湯トイレ他ＬＥＤ化（-0.81tco2）
　　・３階北西事務室の空調熱損失を防ぐ為、low-eガラスに更新
　　2020年度　・３階ELVﾎｰﾙ廊下及び西階段ＬＥＤ化（-8.06tco2）
　　・外灯照明（水銀灯６台）ＬＥＤ化（-0.72tco2）
　　2021年度　・５階事務室及び女子トイレ・外灯照明ＬＥＤ化（-30.39tco2）
　　2022年度　・7階3階2階機械室等共用部及び4階北東女子トイレ照明LED化（-1.04tco2）
　　・4階事務室照明LED化（-27.29tco2）
　　・2階3階7階機械室等共用部ＬＥＤ化
　　・4階北東女子トイレＬＥＤ化
　　2023年度　・１階事務室及び２階共用部ＬＥＤ化
　　・4階北西女子トイレＬＥＤ化
２．社員・グループ会社に対する環境意識向上のための啓発活動
　　ＩＳＯ14001を取得し、社員の環境に対する意識向上をさせるために、ＣＳＲ研修や環境への社会貢献活動など意識改革に向けた取り組みを積極的に推し進めている。
　　また、地域環境に関する協働の促進、地域の環境改善活動のサポートへ積極的に参加している
再エネの導入・利用に関する取組みについて：